

映画英語教育学会 九州支部 第10回大会 特別プログラム

『うしじまあおい氏と楽しむジャズ映画音楽』

- 開催日時： 2008年9月6日(土) 13:15~
- 会場： 福岡医療短期大学 303教室

- 出演者： うしじまあおい氏 (ジャズボーカリスト)
木村暢子氏 (キーボード)

- 曲目 (予定):
 - ・ *As Time Goes By*
(『カサブランカ』より)
 - ・ *The Look of Love*
(『007 / カジノ・ロワイヤル』より)
 - ・ *Charade*
(『シャレード』より)
 - ・ **虹の彼方に**
(『オズの魔法使い』より)
 - ・ *People*
(『ファニー・ガール』より)

曲目は、都合により変更になる場合も
ございます。予めご了承願います。

うしじまあおい氏 プロフィール

福岡市生まれ。11歳の時、歌のコンテストに優勝。東京音楽学院（渡辺プロ）の特待生として歌とダンスを学び、スクールメイツの一員として活動。15歳からは、九州産業大学などのビッグバンドと共演、早稲田大学入学後は、ハイソサエティーオーケストラの史上3人目専属歌手として全国各地でコンサートを行う。大学卒業後、プロデビュー新宿Jをはじめ各地のジャズクラブ、ホテルラウンジを中心に活躍し、共演したミュージシャンは山下洋輔、Jake Concepcion、Alvin Queen、竹中真、内田浩誠、谷口英治など多数。ライブ、コンサート、レコーディングなど、多彩で豊富な演奏経験を持つ。実力派として評価が高い。2001年から郷里の福岡市に拠点を移し、初のCDを制作。東京とも行き来しライブ活動を行いながら、ジャズボーカル講師としても100名余の生徒の指導にあたっている。また、最新の人材育成方法たるコーチングスキルを取り入れて、ヴォイス・トレーニング、ボーカルレッスンをを行い、音楽・芸能を志す次世代の育成にあたっている。コーチ21 Coach Training Program 修了・認定コーチ合格。

木村暢子氏 プロフィール

3才よりクラシック・ピアノを始め、東京、福岡の大学にてピアノ、音楽の基礎を固める。その後、ジャズ・ピアノを研究。作曲、編曲等も手掛けるようになる。

1988年、米倉大介氏（サクソ、ウインド・シンセ、コンピューター・プログラム）とコンピューター、デジタル機器と生演奏との音楽的融合を目指すデュオ・ユニット、「DCプロジェクト」を結成。

1990年12月、東京で行われたヤマハ OMBC 全国大会に於いて「DCプロジェクト」は、2,200作品の中から晴れのグランプリを受賞、全国優勝を成し遂げた。

1991年10月、同じく東京で行われた日本オーディオ協会主催のデジタルサウンドコンテストに於いて優秀賞を受賞。同11月、福岡でのヤマハ・サウンド・エンターテイナー・カップに於いて、最優秀賞を受賞。

1992年11月、ヤマハ・テープ・サウンズ・コンテスト全国大会に於いて、応募総数5,000作品の中よりグランプリを受賞、2度目の全国優勝であった。

1998年、米国ロサンゼルス、ニューヨークに滞在し、アーク佐野氏、ジョアンブラッキーン女子に師事。トニー・デュマスを始め、多数のミュージシャンと共演、交流を深めると共に多くの事を学ぶ。

1999年2月にコーラス・ユニット「TRI VOICES」結成。同年10月に、伝統ある「東京駅コンサート」に出演。同12月には大阪メルバルクで行われた「JASRAC 創設60周年記念コンサート」に出演し好評を博した。

2000年4月には佐世保音楽市場（佐世保市主催）のスペシャル・コンサートとして「トライ・ヴォイセス・コンサート」を催す。

2001年渡米。ロサンゼルスにてケイ赤木氏に師事。同年10月、アメリカ同時多発テロのチャリティーコンサートを企画プロデュースし、出演・演奏。

2002年4月「佐世保市制100周年記念式典」の音楽監督を務め、そのオープニング・テーマの作・編曲を手掛ける。同年10月「サンセット99ライブ・サセボ」に日野皓正クインテットやケイコリー・グループ等と共に「トライ・ヴォイセス・スペシャル・バンド」として出演。

2004年3月、横浜モーション・ブルー、6月、福岡ブルーノートにトライ・ヴォイセス・スペシャルバンドで出演。同年12月、大阪サンケイ新聞主催のクリスマスコンサートに出演。

現在、福岡・九州を拠点にライブ・コンサート、作・編曲、CM作成、など幅広く活動中。